

第4回 センスアップいわみ



高齢者大学学習会

公民館 だより

Kouminkan
dayori

No.
386

8月6日(木)、第4回
目の学習会を開催しまし
た。
午前中の全体学習では
鳥取警察署から講師をお
招きし、防犯についてご講
演いただき、その後、「ハー
モニコやま」によるハー
モニカ演奏を聴きました。
はじめに、警察署が
作成した防犯寸劇のビ
デオを見てからご講演
いただきました。
以前から社会問題化
している「オレオレ詐
欺」ですが、最近はや
り巧妙になり、同じ詐
欺でもさまざまな手口
が横行しているよう
で、金融保証金詐欺な
るものまであるそう
です。
家にいる機会の多い



高齢者がどうしても被害
に遭いやすいそうですか
ら、これを機会にますま
す気をつけましょう。
ハーモニカ演奏では、
選曲が非常にうまく、受
講生が知っている曲ばか
り演奏され、鑑賞してい
るのか合唱しているのか
分からなくなりました
が、最後にはアンコール
も入る好評振りでした。
午後の自主クラブ活動
では、作品が出来上がる
クラブがあるなど回数が
少なくても、成果が見え
始めているようです。
年末の発表会目指して
みんなが頑張りました。

郷土の偉人 講演会のお知らせ

- 題名 橋浦昌雄とブラジル移住
- 講師 鳥取敬愛高等学校 教頭 小山 富見男氏
- 日時 9月13日(日) 午後1時～
- 場所 岩美町立大岩交流センター 多目的ホール
- 主催 輝く大岩をつくろう実行委員会
- 共催 大岩地区公民館

講演概要

明治11年、岩本に10人兄弟の2番目として生まれる。
大岩村長として田後・網代両港の改修に尽力したが、昭和
初期の不況を打開する途は海外移住にありと、県がブラジ
ル(第二アリアンサ鳥取村)に移住地を取得したのを機会に
現地入植先の理事の重責を担い、昭和2年、妻子6人を同伴
して、遠く地球の反対側の異境の地に向け船出した。時に
50才、村長を辞職してからの業績や苦労等について詳しく
話をさせていただきます。

問い合わせ先 大岩交流センター ☎72-0096



岩美川柳会

吐きだした二酸化炭素追っ
る 小西 幸安

団塊の余生そろそろ夢を追
田口 清帆

先よりも後追う方が楽です
北村 稔

追っかけるほどの器でない別
石谷美恵子

口車乗った加速に下車できぬ
岡本 幸枝

見て聞いて口からもれた溜息
山下 節子

口喧嘩後ろを向けばもう忘れ
飯野 昌子

よう喋る口に灸をすえられる
山下 蟹郎

出る杭のからくり調べ打ちに
山田 たぬ

からくりは烏賊がスルメにな
石谷 忠良

ただけ

松かさ短歌会

道ばたの麦の後作となる大豆緑
芽伸びて直線に並ぶ 稲村 信枝

せんべいに濃く焼かれたる夢
の文字噛みつつ講義のノート整
理す 岩垣 明美